

安波地域づくりと東部周遊拠点 相互連携プロジェクト委託業務

報告書【概要版】



平成31年3月

国頭村

1. 業務の目的

沖縄本島北部地域の3村（国頭村、大宜味村、東村）に跨る「やんばるの森」が、平成28年9月に国内33番目の国立公園に指定されました。さらにその生態系や生物多様性から世界自然遺産登録に向け、各種の取組みを行っているところです。

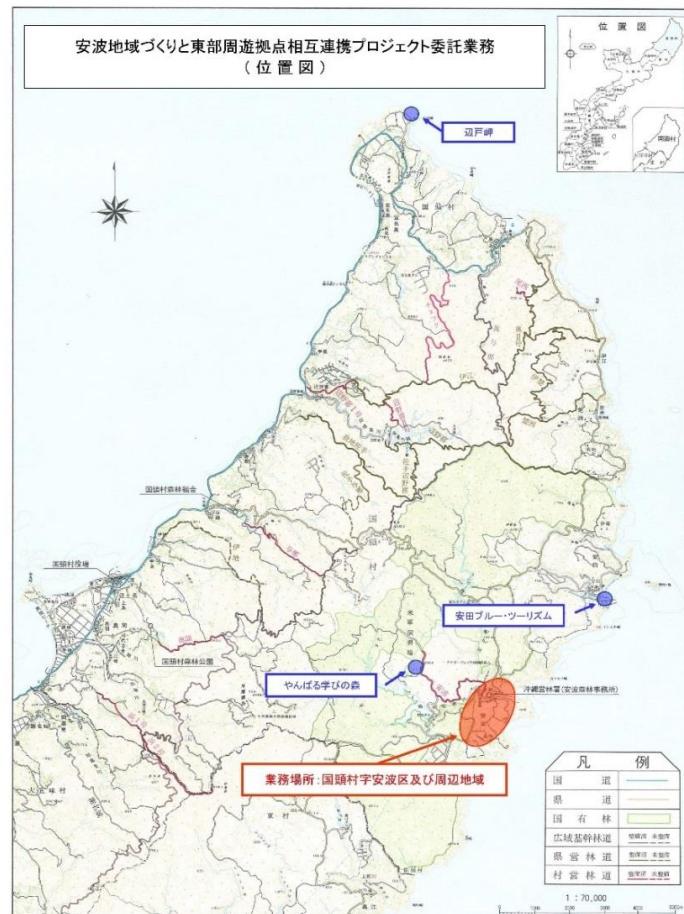
交流人口増大に向け、やんばるの観光は大きな転換期を迎えており、これらを契機に国頭村の東部地域においても観光連携体制を構築し、偏在する観光客を誘客する新たな観光ルートを創出するとともに、周遊・滞在・消費型観光の促進に、繋げていく必要があります。

本業務は、東部周遊の拠点として地域住民が主体となった安波区の地域づくりを行うとともに、東部周遊拠点整備計画（仮称：道の駅 安波）とも相互連携を図り、地域資源を活用した魅力づけについて検討し、道の駅の目的地化も企図した事業展開の検討を行い、効果的な施設の管理運営に結び付けることを目的に実施しました。

本業務の位置図

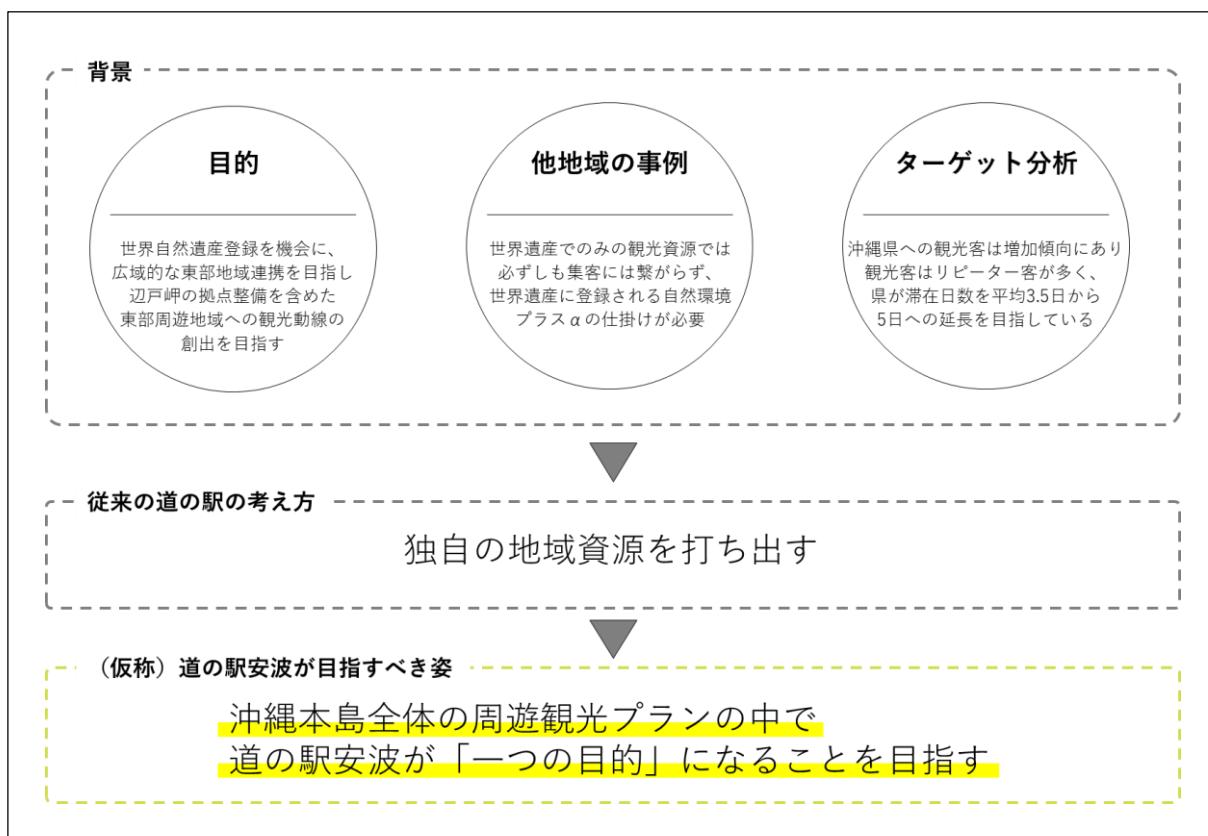


沖縄県国頭村は那覇空港より車で約100分のところに位置し、村土の84%が亜熱帯照葉樹林で覆われ、その森にヤンバルクイナやノグチゲラなど国の天然記念物に指定されている貴重な動植物が生息しております。



2. グランドデザイン・コンセプト

■本事業の概要（平成29年度実施事業振り返り）



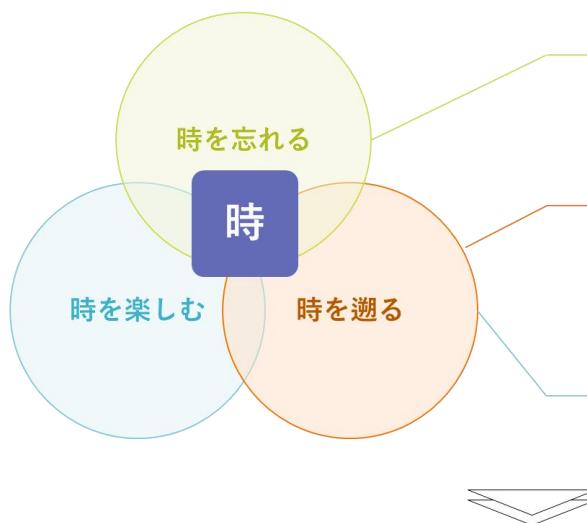
■（仮称）道の駅安波のグランドデザイン



■ターゲット・プラン

- ターゲット：立地を鑑みて、県外や海外のリピーター客の獲得を目指す。

- “時”を軸にしたプラン



【時を忘れる体験】

||
ウェルネス
ツーリズム



【時を遡る体験】

||
エデュケーション
ツーリズム



【時を楽しむ体験】

||
ブルー・グリーン
ツーリズム

ツーリズム×やんばるの森×時 = **ここにしかない感動体験を提供**

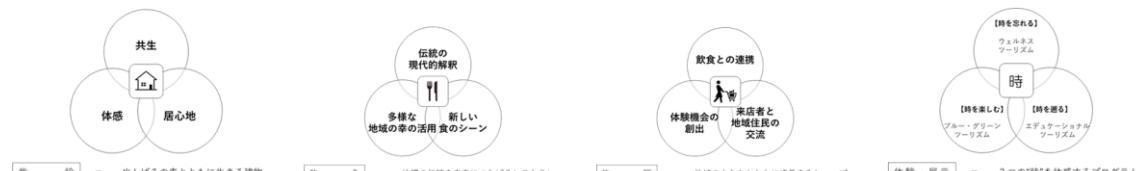
■（仮称）道の駅安波のコンセプト



道の駅安波(仮称)4つの機能ごとのテーマ

コンセプト - 沖縄のこれから がつまっている場所

① 例えば、こんな「これから」



3. 設計デザイン

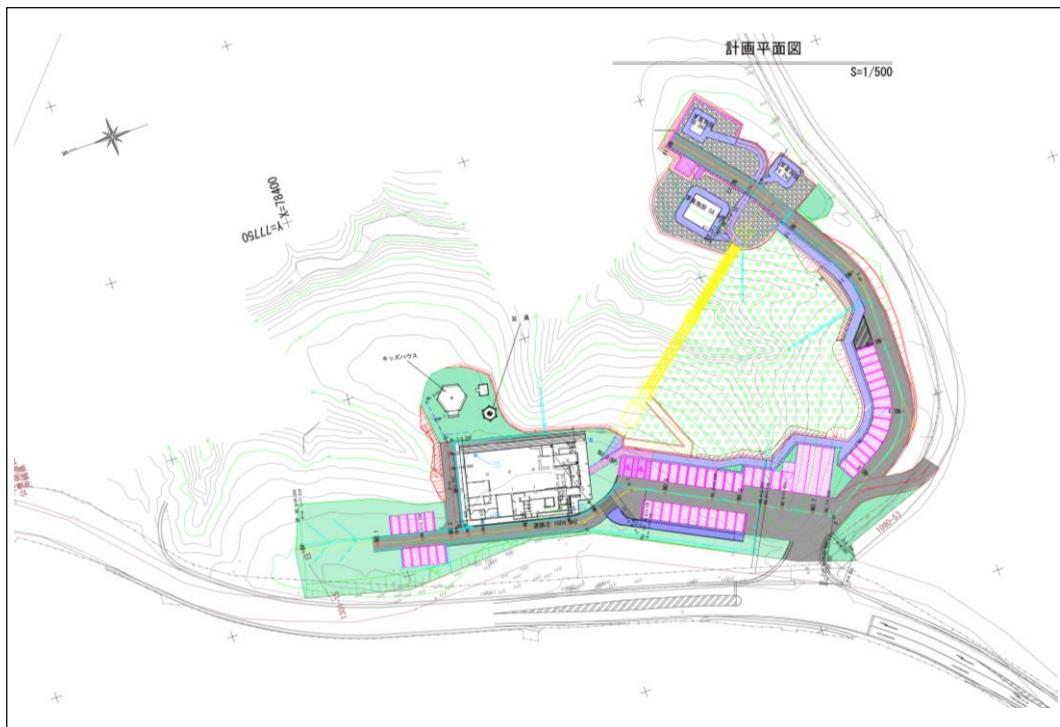


イメージ図

道の駅が設置される安波地区は、かつては茅葺き屋根の素朴な家が立ち並ぶ、昔懐かしい沖縄の風景を見ることができた最後の集落として有名な地域でした。

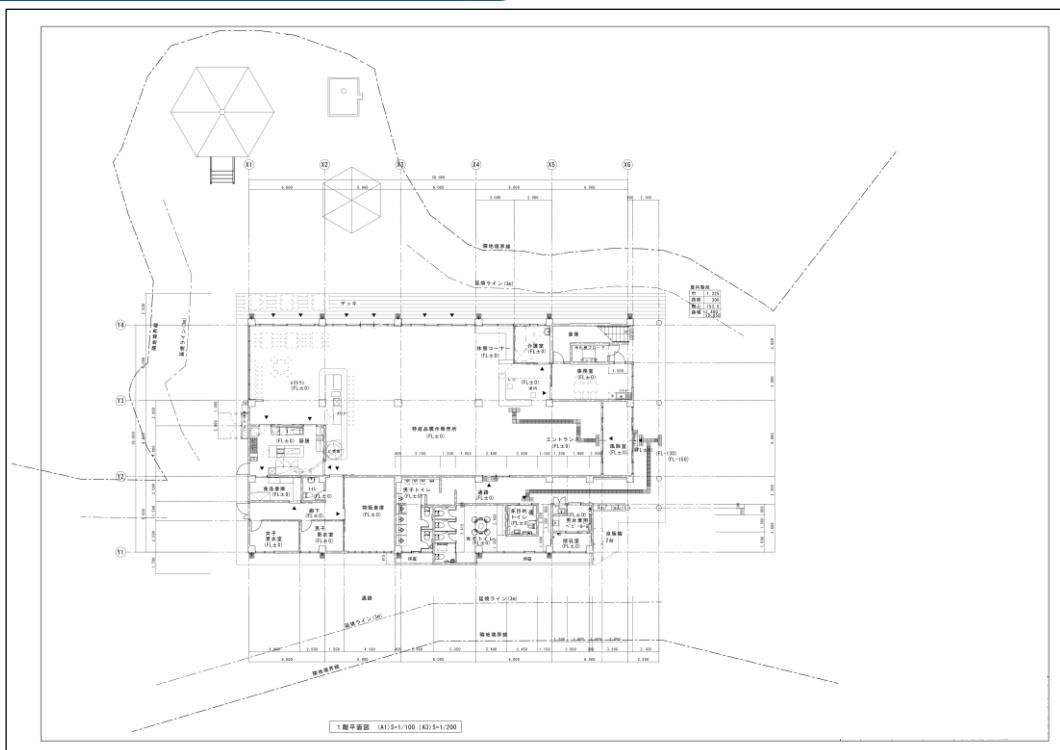
今回、屋根の一部を茅葺き屋根にすることで、国頭村の歴史の継承とこれからの新しい国頭村を建築デザインとして表現しています。

全体平面図



やんばるの森をゆっくりとお楽しみ頂けるよう足湯や森林散策ブリッジを設置予定です。その他、キッズハウスや授乳室も完備、お子様連れのお客様にも安心してご利用頂けます。

店舗平面図



飲食部門（レストラン・テイクアウト）・特産品展示販売所・観光案内所を1つの施設内に集約させて連携をすることで相乗効果を図り、また状況に応じた柔軟な店舗レイアウトを実施します。

4. 施設配置計画

平成29年度に検討した導入施設規模をもとに、平成30年度は道の駅の機能に係る詳細について、地域住民を対象としたワークショップ（ゆんたく会）及び分科会（やってみる会）を通して検討を行いました。

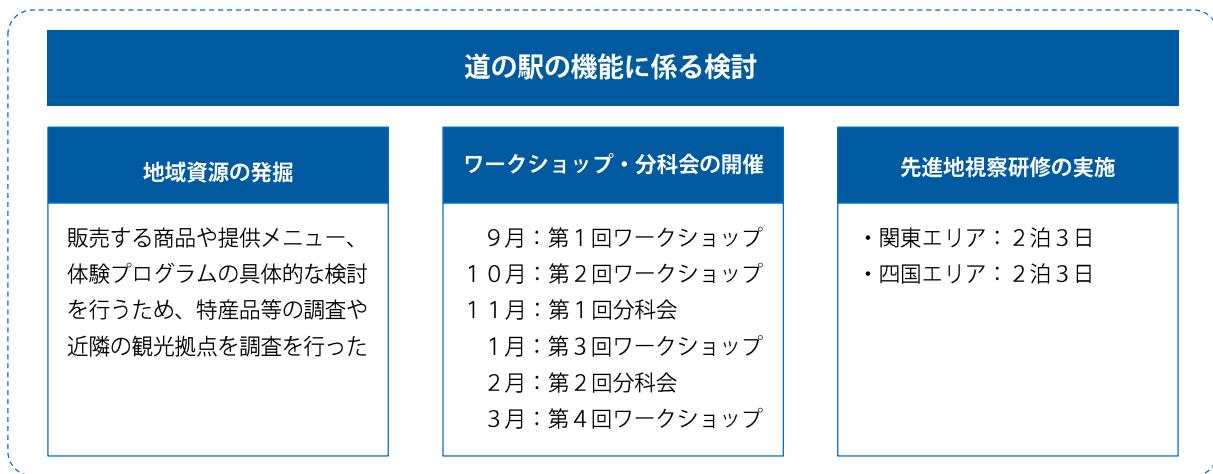
導入予定施設

道の駅では、“休憩機能”、“情報発信機能”、“地域連携機能”が一体的に整備されているものであり、（仮称）道の駅安波においても、以下の機能を有することを想定しております。

機能	導入予定施設
休憩機能	駐車場、トイレ、授乳室、足湯、飲食施設（レストラン・テイクアウト）
情報発信機能	観光案内所
地域連携機能	特産品展示販売所、キッズハウス、茅葺き施設、森林散策ブリッジ
その他	EV充電器

機能に係る詳細検討

平成29年度事業の際に、地域住民とともに策定した（仮称）道の駅安波の事業計画案をもとに、平成30年度は機能に係る詳細について、地域住民によるワークショップ（ゆんたく会）及び分科会（やってみる会）を通して安波区として道の駅で提供したいものの検討を実施しました。



▼
安波区として道の駅で提供したいものを決定

飲食機能

4 5の約束

- ①沖縄の伝統を活かしながら未来に繋げるレストラン
- ②地元の食材や特産品を活かして、商品にしていく

現状・課題

- 数多くの食材を販売に最も合った料理にすることで魅力あるメニューを提案する

レストランメニュー

地域の特産品を使い、伝統料理をアレンジした飲食をアピール

- パイナップルをはじめとした豊富な野菜・果物
- 豊かな海の恵み、海産物
- 伝統食材でありながら、多様な料理に活かせる畜産

テイクアウトメニュー

バラエティ豊かに安価ながらも地域の良さや伝統料理も伝える

- 定番料理
- ・沖縄そば
- ・ジューシー
- ・ムーチー
- 特産物商品
- ・パイナップルワッフル
- ・カラギ茶ジェラート
- ・シークワサードリンク

今まで出た意見をもとに、実際に分科会（やってみる会）でつくって目玉メニューになるかを検証

■分科会（やってみる会）で調理・検討したメニュー



カツオのシークワサーソース
カルバッチョ



ダツのタンカン醤油ソース
カルバッチョ



カイワリのネギゴマ塩ソース
カルバッチョ



国頭村の食材を使ったピザ



楚洲の豚肉で作ったボレッタ



カラギアイスティー

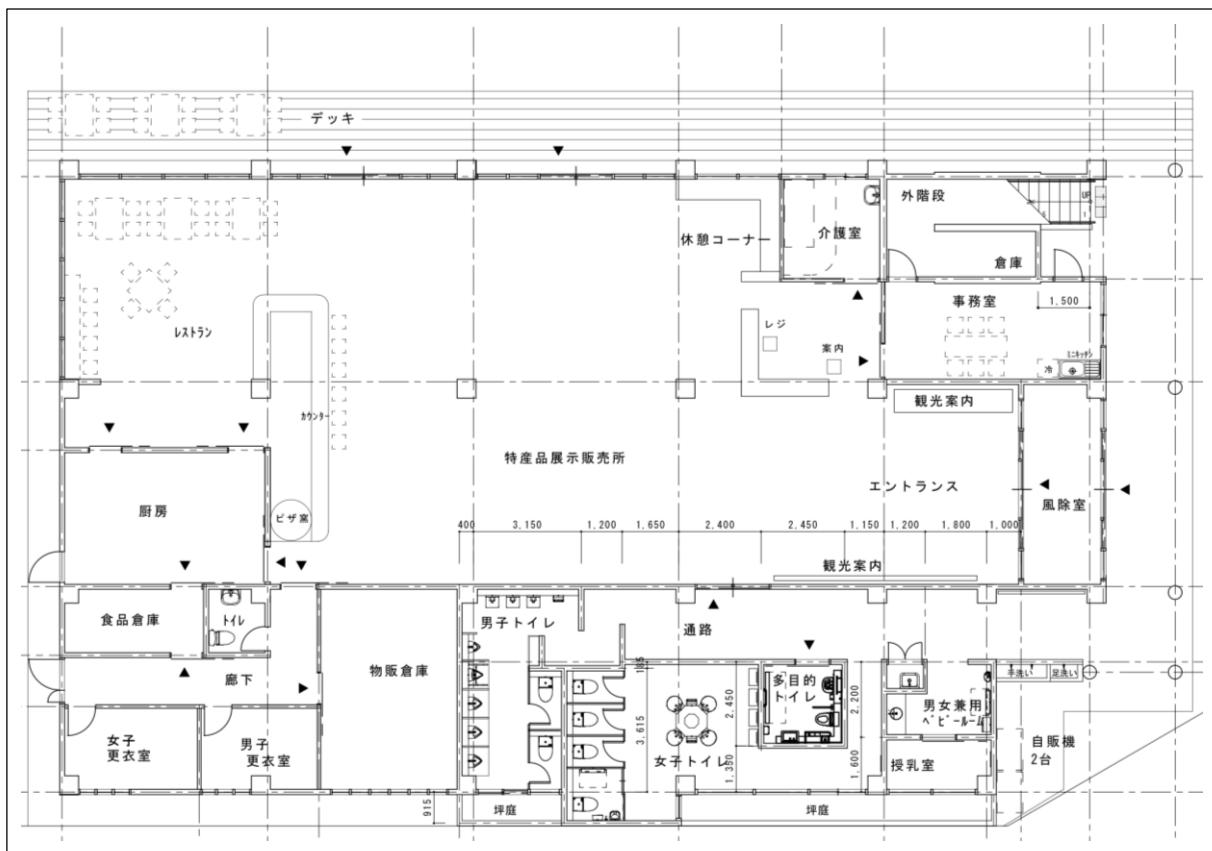


沖縄そば

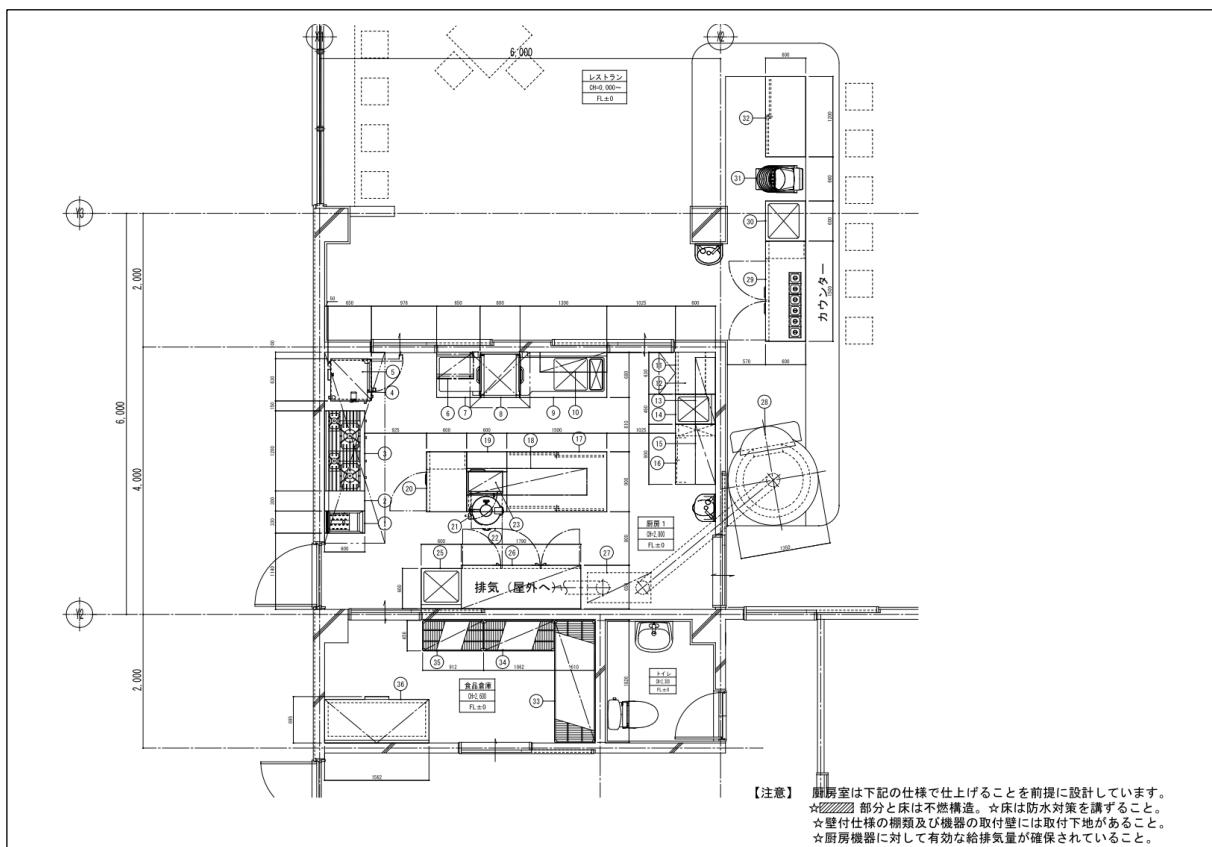


ジューシー

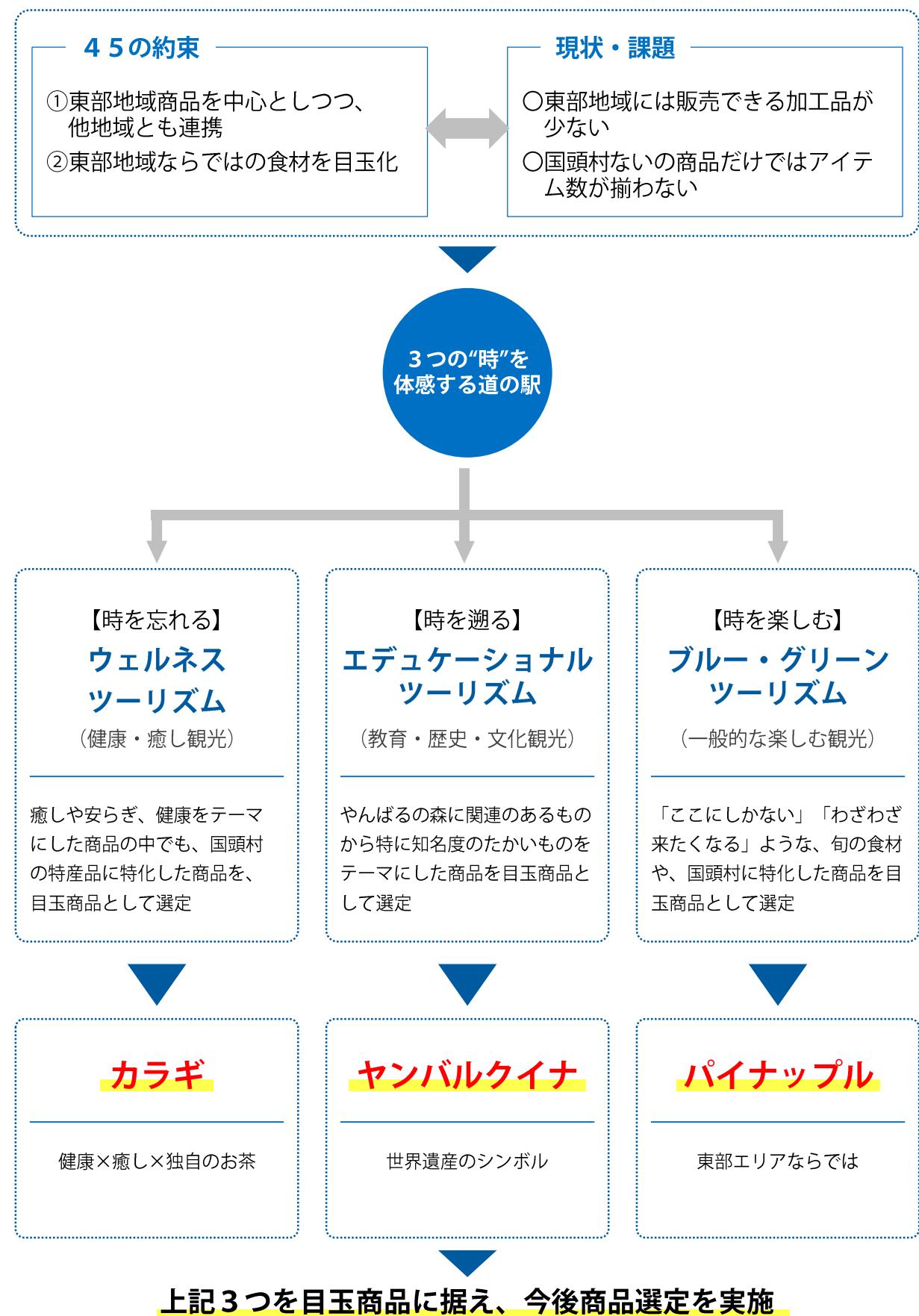
飲食機能（レイアウト）



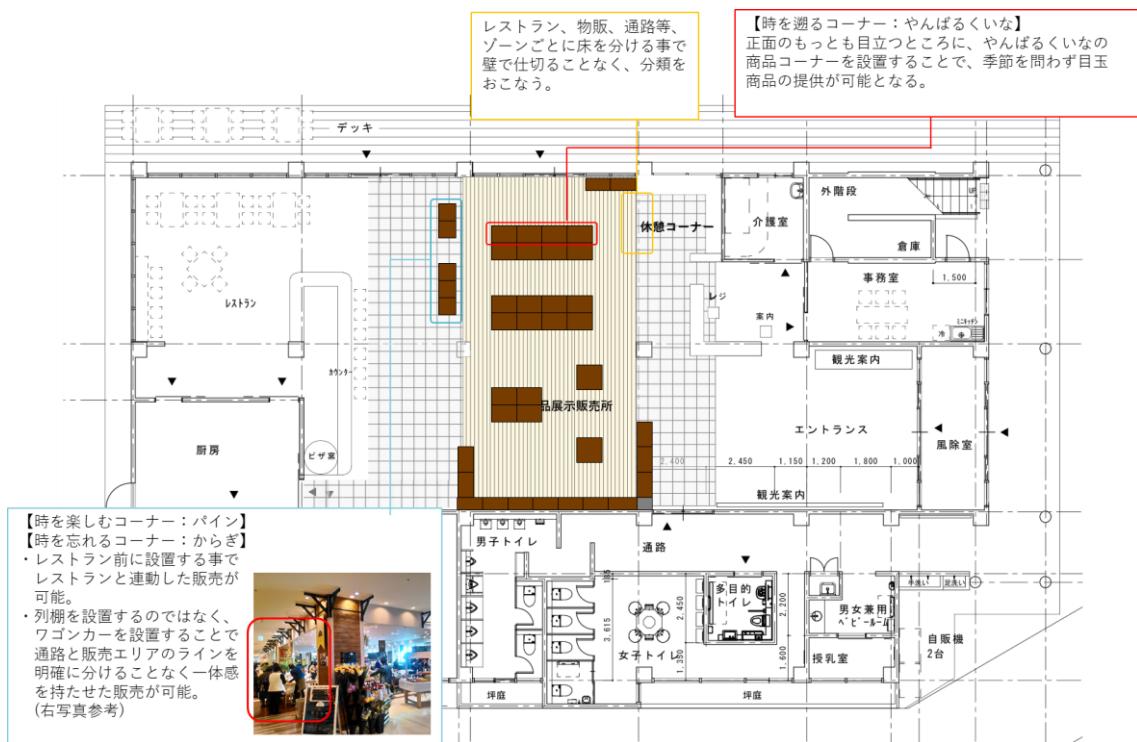
飲食機能（厨房図面）



物販機能（商品選定）



物販機能（店舗レイアウト案）



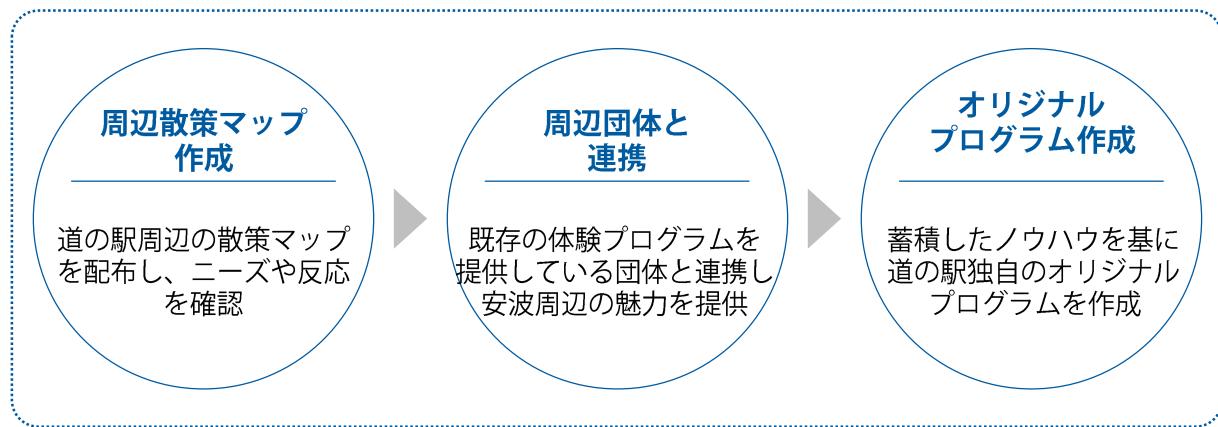
■陳列参考例：道の駅木更津うまくたの里（千葉県木更津市）

平成30年10月に実施した関東地方における道の駅視察研修の際に訪問した道の駅木更津うまくたの里ではキラーコンテンツを「落花生」とし、巨大オブジェや目玉商品の開発、オリジナルキャラクター等、様々なコンテンツを展開。



体験プログラム

■提供する体験プログラムの方向性



初年度から全て実行するのではなく段階的に実現していく

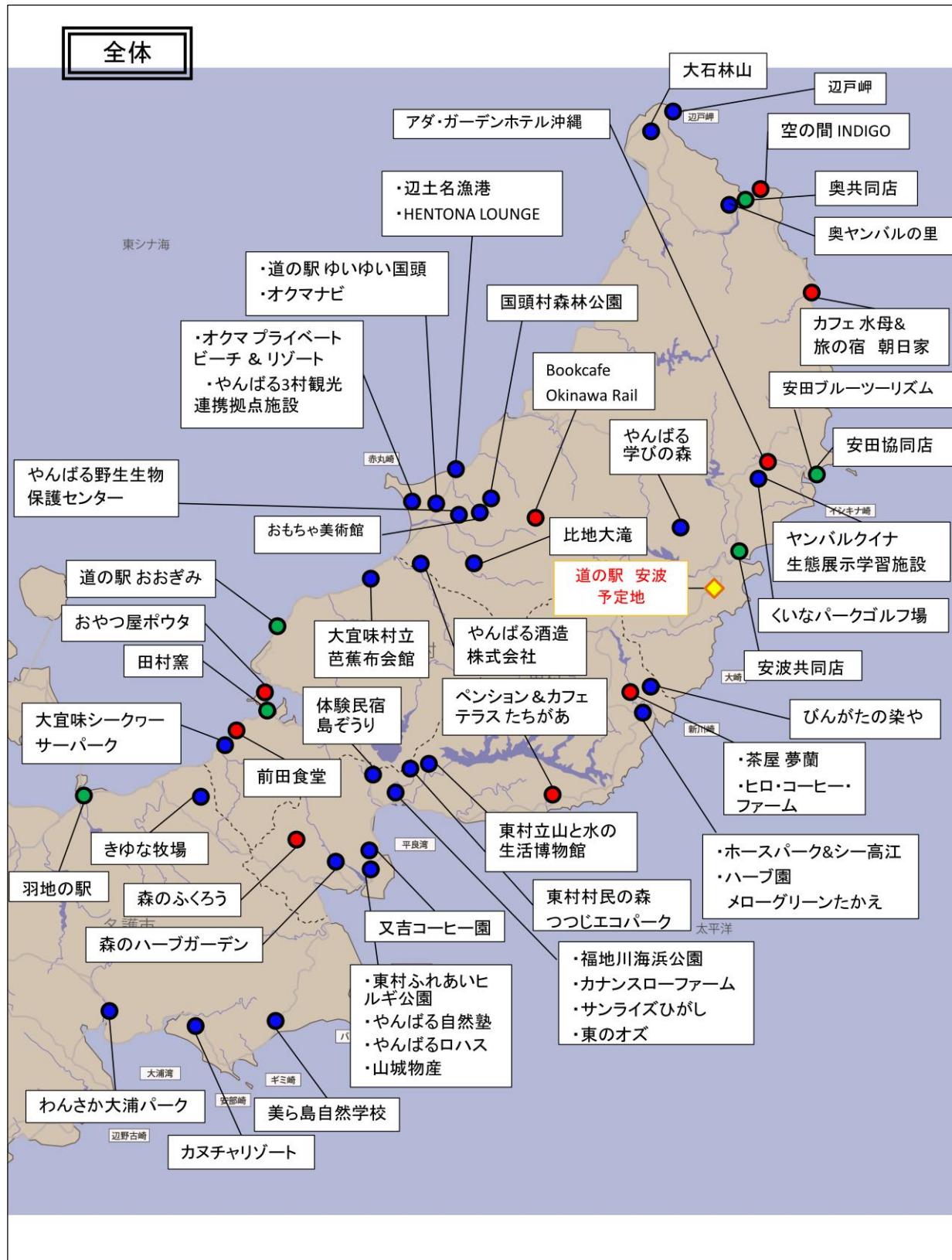
■第1回やってみる会にて作成した安波地区散策MAP

平成30年11月に開催した分科会（やってみる会）にて地域住民自身で散策ルートを策定し、実際に安波区民と関係者にてマップをもとに散策を実施しました。



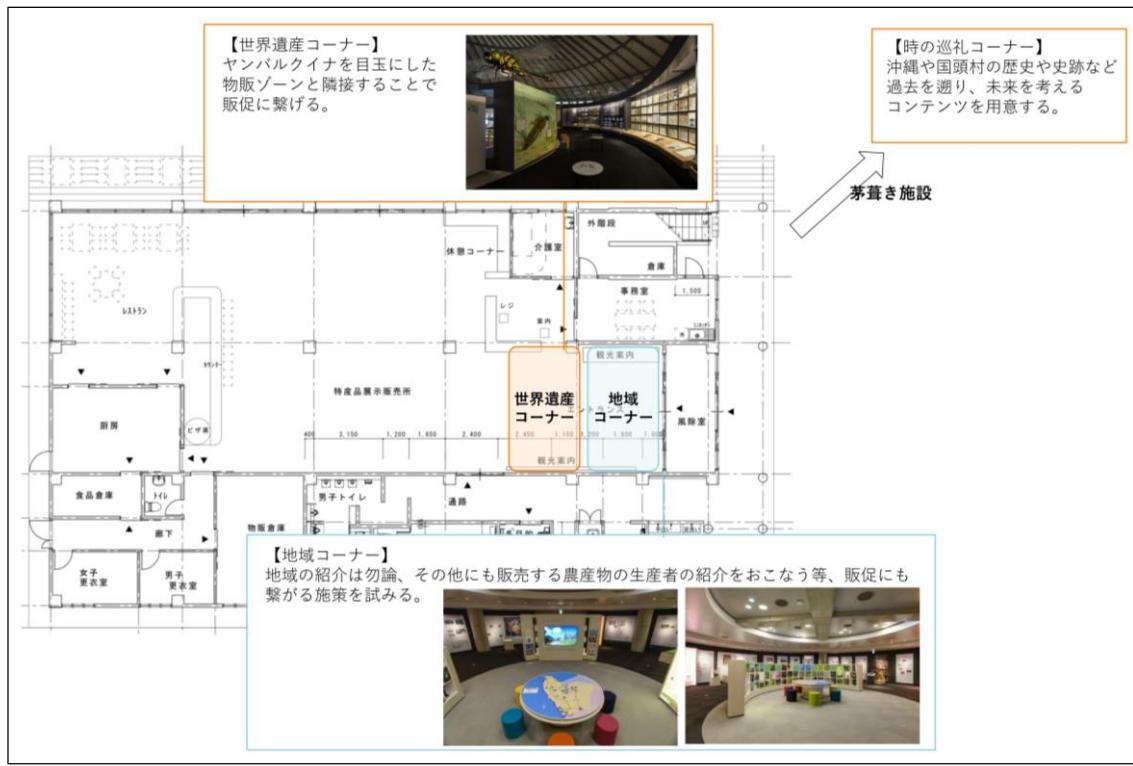
体験プログラム

■参考：名護以北における観光拠点



展示方法（レイアウト案）

■情報発信コーナーにおける展示内容について（案）



テーマごとに飲食や物販とも連携した展示を検討

■展示イメージ例

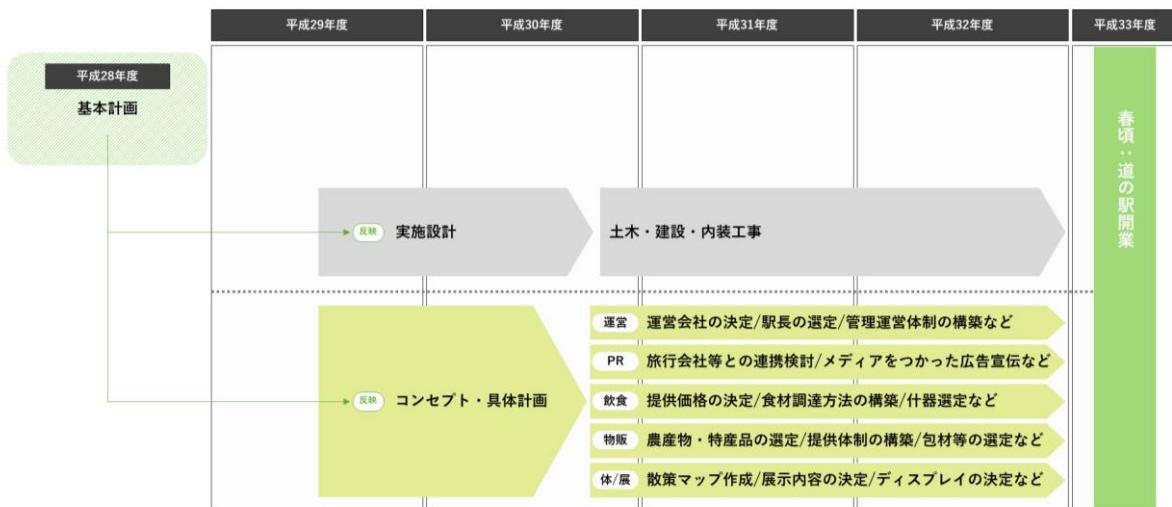


特定の造作展示物を設置しないことで、テーマに合わせた展示を可能とすることを検討。その他にも、繁忙期はイスとテーブルを設置することで休憩スペースとしての利用もできるようになるなど、多様なニーズに合わせた利用が可能となります。

5. 今後のスケジュール

以上内容を受け、開業に向けた今後のスケジュール（案）を以下に提示します。

開業に向けた今後のスケジュール（案）



【お問い合わせ】国頭村役場

〒905-1495 沖縄県国頭郡国頭村字辺土名121番地

TEL 0980-41-2621 FAX 0980-41-2618